

Blue Ribbon Movement

救う会埼玉通信

拉致問題を扱う公開授業を参観して

3月5日、拉致問題を通じて人権を考える公開授業が桶川市立桶川西中学校で行われました。

その中で当会が以前横田夫妻から小・中・高校別にメッセージをいただき編集したDVD教材が公開授業としては全国で初めて使われました。

この公開授業では、新聞各社の記者、そして桶川在住の特定失踪者家族、そしてDVDを作成した当会代表、幹事も招かれました。

授業の「導入」「展開」「まとめ」などは学習指導案をご覧になつていただきたいと思います。が、教師の生徒への働きかけは的を射た適切なものでした。

とかく他人事の事件と思われるがちな拉致問題ながら、アニメ「めぐみ」視聴後、めぐみさん(当時13歳 中学1年生)が拉致されて奪われたものとして「家族と一緒に暮らすこと」「友達と楽しく遊ぶこと」「学校で勉強すること」「部活を楽しむこと」などを発表させることで、拉致被害者めぐみさんを通して、奪われたもの、自分たちがこれからやりたいことが一致することに気付かせることで、めぐみさんに起こった『拉致』を自分たちに引き寄せて考えさせ、拉致が本当に恐ろしい人権

侵害であることを理解させる発問や班での話し合い活動などの工夫が見事でした。

そのような教師からの働きかけがあつてか「拉致問題に対して、自分はどう向き合つていくのか?」との教師の発問に対して生徒たちは「何かできることをしたい」「一人の言葉に大きな力はないが、皆で声をあげれば解決できるように思う」「署名活動などに参加してみたい」など真剣な発表が相次ぎました。

また授業では、めぐみさんにとどまらずほかにも拉致被害者がいること、ブルーリボンの意味についても触れ、さらに最近の拉致や北朝鮮をめぐる新聞記事を紹介しながら、今後の拉致問題についての意欲づけもしつかりできていました。

当会で作成した横田夫妻の小中高年生別のメッセージDVDは、埼玉県教育委員会経由で県立高校と県立支援学校には全校配付されていますが、小中学校は市教育委員会管轄の為、まだ小中学校で使われたという話は聞いておらず、今回の桶川西中学校での公開授業は画期的であり、ぜひ全国の学校で拉致問題の授業の充実を図っていただきたいと思います。

特に今回の学習指導案は大変良く練られており素晴らしい内容だと思います。この指導案をもとに学級の実態に合わせながら授業を行えばすばらしい授業ができるものと確信いたしております。

最後に今回の授業を行っていただいた先生およびご協力いただいた先生方、そして教育委員会の皆様、市長はじめご協力いただいたすべての皆様のご努力に心から敬意を表したいと思います。

(馬場・竹本)

※今回の公開授業について、参観した新聞各社記者からも好評でした。もちろん各社記事にしてくれました。

発行

北朝鮮に拉致された日本人を救出する埼玉の会

連絡先 〒331-0812
さいたま市北区宮原町1-184-23
ラミーユ大宮ハイライズ1号棟
513号 電話 090-8815-4986
発行責任者 竹本 博光
救う会埼玉通信 第37号
<http://sukuukai.goزارu.jp/>

社会科公民的分野学習指導案

1 単元名 基本的人権と個人の尊重

2 本時の学習

(1) 目標

- ・基本的人権や個人の尊重の原理に関心を持ち、進んで追究しようとする意欲を持つ。
- ・拉致問題を通し、個人の尊厳と人権尊重の意義について理解を深める。

(2) 本時の展開

	○学習活動 ・学習内容	○教師のはたらきかけ ・予想される生徒の反応	・指導上の留意点 ◎評価と（手立て）
導入	○横田めぐみさんのポスター（政府の拉致問題対策本部が発行）を見て、北朝鮮による拉致問題に関心を高める。	○ポスターにある「必ず取り戻す！」とはどこから取り戻すのかを問う。 ・北朝鮮から ○約 40 年前に、(当時) 同じ中学生だった横田めぐみさんが、北朝鮮によって拉致された事件があったことを簡潔に伝え、「めぐみ」の視聴に繋げる。 ○視聴後に考える課題について、あらかじめ提示する。	・北朝鮮による拉致問題に対して、問題意識を持たせる。 ・ポスターに横田めぐみさんが着物姿で写っていることについても言及する。
【課題】横田めぐみさんから奪われたもの（権利）は、何ですか？ ※（権利）は伏せる。			
展開	○北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」の視聴。 ・拉致問題とは ○横田めぐみさんから奪われたもの（権利）は何か？について考える。その際にまずは個人で考え、その後 4 人班になり、各自で考えた内容を共有する。 ○横田めぐみさんから奪われたもの（権利）と、自分達がこれからやりたいことを対比し、一致することに気が付く。そして、拉致問題が他人事ではないことを感じ取る。	○視聴後に数名を指名し、考えた内容を発表させる。 ・家族と一緒に暮らすこと ・友達と楽しく遊ぶこと ・学校で勉強すること ・部活動で汗を流すこと など ○班で共有した内容を 1 枚のホワイトボードに書き、黒板に貼らせる。（7 班＝全 7 枚） ○（全ての班が貼り終えたら）事前にとったアンケート結果「これからの人生でやりたいことは何ですか？」を掲示し、注目させる。 ・横田めぐみさんから奪われたも	・横田めぐみさんが拉致された場面まで視聴する。 ・数名の発表から具体例を挙げさせることで、他にもどんなもの（権利）が該当するのかについて考えやすくさせる。 ・横田めぐみさんから奪われたもの（権利）と、自分達がこれからやりたいことが一致することに気が付かせることで、めぐみさんに起

	<ul style="list-style-type: none">・拉致問題と人権侵害 <p>○公民の教科書P. 44「基本的人権と個人の尊重」を確認し、横田めぐみさんから奪われたもの（権利）は、全ての人が自由に人間らしく生きていくために保障されている基本的人権であることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none">・基本的人権と個人の尊重 <p>○「横田滋・早紀江さんからのメッセージ」映像の視聴。</p>	<p>のと、私達がやりたいことは同じ、横田めぐみさんの未来が奪われた など</p> <p>○平等権、自由権、社会権など、既習事項と関連付けていく。</p> <p>○視聴する際に、映像の中で印象に残った一言について問うことを、あらかじめ伝えておく。</p> <ul style="list-style-type: none">・娘には、一刻も早く帰ってきてほしい、一人一人命を貰って生きている、拉致は絶対許されない 等	<p>こった出来事を自分に引き寄せて考えさせる。</p> <p>◎横田めぐみさんから奪われたもの（権利）を、既習した基本的人権と関連付けて理解できている。</p> <p>【知識理解】</p> <ul style="list-style-type: none">・横田めぐみさんが奪われたものが、既習した基本的人権であると理解したところで、課題の部分で伏せていた（権利）を提示する。
まとめ	<p>○「拉致問題に対して、自分はどう向き合っていくのか」について、自分の考えをまとめる。その後、隣の生徒同士で意見交換する。</p> <p>○2種類の新聞記事（安倍首相が家族会と面会、米朝首脳会談）に注目させることで、拉致問題は過去の問題ではなく、現在進行中であることを理解する。</p> <p>○拉致被害者の救出を求める運動の中で発案された、「ブルーリボン」について知る。</p>	<p>○隣同士で発表した後に数名を指名し、考えた内容（まとめ）を発表させる。</p> <p>○ポスターに早紀江さんの直筆で書いている「同じように助けを求めている拉致被害者がたくさんいるのです」に注目させ、横田めぐみさんの他にも、未だ安否の分からない拉致被害者がいることにも触れる。また、拉致問題に対する北朝鮮政府の捉え方も説明する。</p>	<p>◎拉致問題を通して基本的人権に対する関心を高め、進んで追究しようとする意欲を持つことができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none">・拉致問題は北朝鮮と日本の国家間の問題であり、北朝鮮の国民や在日朝鮮人の人々には責任はないことをおさえる。・拉致問題への関心が最も低いのは10～20代であることも踏まえる。（内閣府が発表した「外交に関する世論調査」）

(3) 板書計画

【 課題 】 横田めぐみさんから奪われたもの（権利）は、何ですか？			
7 班	4 班	1 班	<div>横田めぐみさんのポスター （政府の拉致問題対策本部が発行したもの）</div>
	5 班	2 班	
	6 班	3 班	
<div>ホワイトボード</div>			<p>これからの人生において、 やりたいことは何ですか？</p> <p>※事前に行ったアンケート結果をまとめたもの</p>

所沢駅前街頭署名活動

所沢街宣活動報告

救う会埼玉幹事

小野田 緑丸

去る5月11日(土)、所沢駅前で開催した街宣及び署名活動について報告させていただきます。

4年に一度の統一地方選挙が終わって間もない4月末、選挙の手伝いも一段落しましたので、長年の懸念であった所沢市での街宣活動の展開に着手しました。



に活動し今回、所沢市議会議員に当選した佐野充彦氏や通りすがりの議員さんたち、救う会埼玉の仲間たち、特定失踪者家族の方々、地元の友人などで気が付けば参加者は20名を越えていました。

しかし後半、泥酔者からの嫌がらせがありました。言い掛かりを付けて暴力を振るってきたのです。もちろんすぐ近くに交番もあり泥酔者は即刻交番に引つけられていきました。

北朝鮮情勢が動きつつある今だからこそ、私達一人一人が立ち上がり声をあげていかなければ、拉致被害者は取り戻せないのです。

所沢駅前で当会主催の街頭署名活動は初めてです。埼玉県内の主要駅でどんどんと活動の輪が広がっていくように努めたいと思います。

集まった署名の数は68筆とそれほど多くはありませんでしたが、多くの学びがあり次に繋げる活動になったと思います。

他にも救う会埼玉で一緒

御協力頂いた全ての方々

に感謝しつつ、今後も全ての被害者の奪還に向けて声を張り上げて行きたいと思っています。



救う会全国協議会ニュース

自民党拉致対策本部、拉致議連が会合

本日、自民党拉致対策本部(山谷えり子本部長)が外交部会と合同で、また拉致議連(古屋圭司会長)が会合を開いた。家族会から横田拓也事務局長が、救う会から西岡力会長等が参加した。菅義偉拉致問題担当大臣がいずれも参加した。

菅大臣は、今月ワシントンで米政府要人と懇談した感想として、「米国の幹部にも拉致問題が浸透していた。今がまさに正念場。拉致被害者については認定の有無に関わらず全員を取り戻す覚悟で取り組む」、「拉致問題の解決まで制裁の緩和はしないことを確認した」と述べた。

横田拓也事務局長は、「ワシントンDC、ニューヨークで米政府高官等と面会し、被害者家族の立場からメッセージを発信した。今が正念場と感じている」と述べた。

西岡力・救う会会長は、「シンガポール・ハノイでの米朝首脳会談で、金正恩は拉致問題は避けられない問題であると理解した。日米の歩調は合っている。最後は日本が取り戻す」、「5月19日の国民大集会で、平成9年に開始して以来の1300万余りのすべての署名が会場に積み上げられる。是非参加してほしい」と述べた。

(2019・5・15)

拉致被害者救出・北朝鮮に自由と平和を

拉致被害者・特定失踪者救出の為に国会請願デモに参加して

5月24日(金)に、拉致被害者、882人の特定失踪者(警察庁開示)救出を求める国会請願デモが行われました。

当日は日比谷公園霞門前に暑いなか、200人以上の被害者家族・支援者が参加しました。デモ隊は、拉致被害者・特定失踪者の顔



写真を首からかけ、国会議事堂正面を通り、通用口にて与野党国会議員に請願書を読み上げ手渡ししました。

その後星陵会館に集合し、参加された特定失踪者家族のみなさんによるスピーチがあり、失踪された当時のことなど特定失踪者への想いが語られました。家族からは「平日にもかかわらず、多くの支援者の皆さんがこんなにも集まってくれたら、勇気をいただきました。」と支援者への感謝の言葉もありました。今後、全員を救出するまで救出活動が続けていくことを誓って散会しました。

今回参加していて、救う会埼玉のさまざまな取り組みの大事さをあらためて感じ、毎月の活動と同じ思いの仲間との出会いの拡大のため、精いっぱい頑張ろうと思いました。

(岩間)

『拉致被害者救出・北朝鮮に自由と平和を!』のデモ・集会に参加して

5月24日(金)、この日の気温は東京では31度。北朝鮮情勢に動きがみられるなか、拉致被害者・特定失踪者のご家族がデモと集会に立ち上がりました。私は人生初のデモで、デモや署名活動のような活動は嫌いじゃなく、好きな事に気づかされ善き体験と活動になりました。

・デモにて思い感じた事。
矢島 文恵さん(富山県新湊市から1974年5月13日失踪した荒谷敏生さんの妹)が、怒りと切望との魂からの訴えかけで。

『日本を信じています。個人では何も出来ません。私達が北朝鮮に行っても撃ち殺されるだけです。宜しくお願い致します。』



といろんな思いが間欠泉のように吹き出したのを私は見ていました。

その時に矢島さんの目の前にいたのは、古屋圭司議員でした。古屋議員は矢島さんの目をしっかりと見て訴えかけを領きながら聞いていました。

矢島さんの魂の叫びを、私は自分自身の活動の支えの一つにさせて頂きます。

・集会にて。

集会では、拉致被害者・特定失踪者家族が訴えられた後、拉致被害者・特定失

踪者の方達の顔写真を家族や家族が出席できない場合は会場の方々が首から下げ、司会が被害者の名前を呼び、首から下げた写真を持っていてる方が、返事をし立ててみなさんに顔写真を見せるというかたちで行われました。

・デモと集会に参加して。
被害者の顔写真を見ていると「どうして、どうして、この人たちが拉致されてしまったの?」と思う気持ちが強くなり、改めて活動一つ一つに意義があると思いました。

北朝鮮は日本に宣戦布告したのも同然なのです。

私達の同胞を奪い、拉致被害者・特定失踪者の方達の人生を奪ったのです。本日に一日もはやい救出を願うと同時に、そのための地道な活動を今後もしっかりと続けていきたいと心から思いました。

(花岡)

特定失踪者家族国会請願デモ行進

平成31年度 救う会埼玉 総会報告

平成31年度の当会総会が、平成31年3月10日（日）に開催されました。特に問題なく、『平成30年度活動報告』、『決算報告』、『会計監査報告』『新役員人事案（新幹事：五位野一法氏、小野田陽徳氏就任）』、『平成31年度活動方針案』、『平成31年度活動計画案』、『予算案』を承認いただきました。その後休憩をはさみ、拉致被害者家族・特定失踪者家族から失踪当時の話や苦悩について話を伺うことができました。動きだしそうな北朝鮮情勢の今だからこそ、しっかり埼玉から声をあげ世論を盛り上げていく今が絶好のチャンスであり、力を合わせてそれぞれの持っている力を出し切っていこうと誓い合って閉会となりました。

こちらの通信では、『平成30年度活動報告』と『平成31年度活動方針』などについて掲載いたします。

会員の中でも活動に積極的にご参加いただいているのは、一部であります。まだ多くの拉致に関与した工作人員や協力者は日本国内に数多く潜んでいると言われていています。北朝鮮から指令があれば再び拉致を再開するでしょう。私たち自身や大切な方々が再び拉致されない為にも、すべての被害者救出を目指す運動を盛り上げていく必要があります。この問題は自分たち自身の問題と捉えなおすことが必要です。そのために私たちができるところからアクションに移していくことが必要なのだと思います。ぜひ、街頭活動や、県民集会のスタッフ、資金カンパなど積極的にご参加いただけますようどうぞ宜しくお願い申し上げます。（竹本）

救う会埼玉 平成30年度 活動報告

【定例街頭活動】

- 毎月 第二日曜日 14～16時 浦和駅西口伊勢丹前
- 奇数月第三日曜日 13：30～15：20 志木駅前
- 奇数月第四日曜日 14～16時 熊谷駅北口前
- 上記以外の臨時活動場所

大宮駅西口前、吉川駅前、蕨駅前、桶川集会場内、上野公園前、靖国神社前、
年間署名数：3,788筆 県民集会等を含め活動参加延べ人数：632人

【当会主催：都内街頭活動】

- 4月1日 上野公園前 参加者60名、署名420筆、チラシ3,000枚、
- 8月15日靖国神社前 参加者63名、署名761筆、チラシ4,000枚、

【集会活動】

- 3月31日 当会の総会にて講師をお呼びし講演していただく。
- 9月1日 「第16回 拉致問題を考える埼玉県民の集い」を主催する。
埼玉県共催。参加者460人。県民集会DVD作成。

【要請活動】

- 拉致問題解決の為に積極的に動いておられる衆参国會議員を訪問し、情報交換や要望書作成にあたっての意見を伺うなどパイプ作りに努めた。
- 必要に応じたさまざまな要望書を広く賛同者を集め、関係機関に提出した。
- 埼玉県および県議の拉致議連に県内の拉致被害者・特定失踪者の顔写真つきのポスター作成と各所への掲示を要望し、実現する。

【その他の広報活動】

- 活動機関紙「救う会埼玉通信」を年に3回発行し、会員に活動状況などを詳しく説明している。
（活動結果、活動予定、講演内容、最新情報等）
1,000部発行し、約半数を郵送している。
- 「拉致被害者奪還ツイキャス」に出演しネットで情報発信を行う。
- 当会ホームページにて最新情報を掲載する。
- 公立学校への働きかけ（3月に桶川市内にて公開授業実施予定）

救う会埼玉 平成31年度 活動計画

1. 活動方針

今年2月28日に行われた米朝首脳会談は決裂しました。しかしトランプ大統領から拉致問題についての話が金正恩（キム・ジョンウン）にあったようです。拉致問題が解決に向けて動く可能性も出てきています。

ただ北朝鮮は、兄である金正男（キム・ジョンナム）に対して化学兵器VXを使い暗殺するなど、反対派になる可能性をもつ多くの要人を粛清し、恐怖の力で独裁体制を維持しております。また二度にわたる米朝首脳会談で話し合いの場はできても、北朝鮮側は核やミサイルの放棄、拉致問題の解決に踏み込まず、交渉は進んでいません。

今まで何度も北朝鮮には騙されてきた教訓もあり、北朝鮮側の核ミサイル増産の時間稼ぎとも受け取れます。このように北朝鮮情勢に世論の注目が集まっている現状を、私たちは拉致問題解決のチャンスととらえ、より世論を盛り上げていくために、今一層拉致問題解決への世論喚起運動を活発化させていくため、組織力・動員力の更なる強化が急務であると考えます。

拉致問題を取り巻く状況の急変の際には、首都圏に住む私達が中心となって対応しなければならないことを自覚し、正確な情報をより多くの会員に伝え必要な行動を行う「即応態勢」のできる組織を整備していく必要があります。

そこで私達がより迅速により多くの動員力を持つ為に以下の課題の克服が必要になってくると考えます。

- (1) より迅速に情報の受発信を行う体制作り
- (2) ともに行動する仲間の拡大（特に若年層の確保が必要）
- (3) 状況の変化に応じ臨機応変に対応する力（企画力及び実行力）

上記課題の克服の為に引き続き本年度取り組む対応策を挙げます。

- (1) より迅速に情報の受発信を行う体制作り

- ① 会員からメールアドレス情報を提供していただき、必要に応じメールにて連絡を取り合う。
- ② 昨年からフェイスブックに「救う会埼玉」を登録し、情報の受発信を開始している。
- ③ 「救う会埼玉通信」を年3回発行し、当会の活動結果及び今後の活動予定、各地での拉致問題に関する効果的な取り組みや集会内容についての情報をより多く掲載することで、より充実した情報提供を行う。

- (2) ともに行動する仲間の拡大

- ① 集会・署名活動などの行事を通して会員拡大に努める。
- ② 署名活動に参加された会員向けに署名活動後、会員相互のコミュニケーションの場を設けるなど、会員相互の親睦に努める。
- ③ さまざまな行事をホームページに掲載し不特定多数の方々にも参加してもらえるよう工夫する。
- ④ 浦和駅での街頭活動の他に、県北部熊谷駅北口前での街頭活動（奇数月の第四日曜日に原則14時から2時間）、県西部志木駅前での街頭署名活動（奇数月第三日曜日13時半～15時20分）を実施してきているが、県東部でも街頭活動の拠点ををつくるため、新越谷・南越谷駅前で幹事でもある浅井県議が中心となって街頭活動を計画中。ほかにも本年拉致問題に関する取り組みの実績のある吉川市長、桶川市長、上尾市長の協力を得て街頭活動などの拠点を増やしていきたい。
- ⑤ 拉致問題の広報の為に、都内で活動する仲間達と連帯して活動する。

（3月30日10時半～13時半上野公園前、8月15日12時～16時九段下駅付近で実施予定。）

- (3) 臨機応変な対応力

- ① 今後流動化する状況に素早く対応するため、多角的な情報網を築き、正確な状況分析を行い、適切に対応できるように、三役及び幹事との連携をより密にする。急ぎの案件があった際には、メールを使い臨時幹事会を行い、幹事一丸となって活動に取り組む。
- ② 幹事は会の要であり、各自役割分担を担い責任を持って職責を果たすように努める。
また幹事は印刷機の使用方法などをマスターし事務能力を全員身につける。
また組織活動はチームワークが大切であり「報告」「連絡」「相談」の徹底を図る。
さらに、幹事の自覚強化の為に、幹事会や街宣、そして通信印刷や行事の下準備などそれぞれへの参加率を75%以上であることを幹事の要件としている。

- ③ 状況が流動化している現状において、緊急集会・緊急活動の際には、メールにて会員に参加依頼

を行う。(Eメール、携帯電話のショートメールなどの活用)

また、救う会全国幹事会で決定された方針をふまえ、当会はその目的達成の為広範な友好諸団体とも連帯し、時局の変化に対して臨機応変に対応し、考えられる効果的方法を駆使し、拉致問題の早期解決を目指す。

2. 具体的な活動予定

- ① 毎月第二日曜日 定期街頭署名活動 14～16時 浦和駅西口伊勢丹前
(当日12時～幹事会、14時～街頭活動、16時半～懇親会など開催)
- ② 奇数月第三日曜日 定期街頭署名活動 13:30～15:20 志木駅南口前
- ③ 奇数月第四日曜日 定期街頭署名活動 14:00～16:00 熊谷駅北口前
- ④ 新越谷・南越谷駅前で街頭署名活動を予定。(その他効果的な場所にて随時行う。)
- ⑤ 年3回「救う会埼玉通信」にて活動報告と予定、情報を発信する。(1000部発行)
- ⑥ 県内で開催される政府・自治体主催の集会に協力する。(去年は政府主催演劇、桶川市主催集会等)
- ⑦ 拉致問題解決に必要と思われる要望書に関して賛同者を取りまとめ提出する。
- ⑧ 平成31年度総会の開催(3月10日)
- ⑨ 3月30日(土) 10時半～13時半 都内・上野公園前にて街頭署名活動
- ⑩ 8月15日(木) 12時～16時 都内・九段下駅付近にて街頭署名活動
- ⑪ 9月14日(土)「第17回 拉致問題を考える埼玉県民の集い」(県と共催)(浦和パルコビル10階:浦和コミュニティセンター多目的ホール)
- ⑫ 12月8日(日) 14時～16時 北朝鮮人権侵害問題啓発週間 知事・議連とともに街頭署名活動
- ⑬ 当会が作成し県立高校などに配布されているDVDやアニメ「めぐみ」の活用状況を確認する。
- ⑭ 朝鮮総連関連施設への固定資産税課税状況・朝鮮学校への補助金支出問題の状況確認
- ⑮ 友好諸団体の拉致問題関連集会・署名活動への支援活動
- ⑯ 当会ホームページなどの活用によるより迅速な情報発信
- ⑰ 当会独自のブルーリボンバッジ・缶バッジ・県民集会DVDの拡販による広報と財源確保
- ⑱ 必要に応じた国会議員・県議会議員訪問などによる協力依頼活動
- ⑲ 必要に応じ、国際世論に訴えるために大使館訪問を行う。

書籍紹介

「統一朝鮮が
日本に襲いかかる」
豊田有恒 著
祥伝社新書
¥820(税別)

著者は島根県立大学名誉教授。本書は2回目の米朝首脳会談の少し前に出された。韓国の文在寅政権の常軌を逸した反日行為(慰安婦、徴用工、レーダー照射等)や北朝鮮への急接近を批判した内容の書である。

第四章で著者は北朝鮮は核を放棄しないと繰り返し言う。第五章では南北会談や米朝会談が、かつてのミュンヘン会談(1938年9月、ドイツのミュンヘンで英・仏・独・伊の四か国で行われた会談。この会談で宥和派の英首相チェンバレンはナチス・ドイツの総統ヒトラーのチェコスロバキアのズデーテン地方の割譲要求を受け入れてしまった)の再来にならないよう警鐘している。

第七章の中の節でソウル

陥落のシミュレーションはリアル過ぎて読んで恐ろしくなる。第八章の日本は、どうすればよいのかでは北に対しては経済制裁をさらに強化し、北を体制崩壊に向け、追い詰めると言う。

2回目の米朝首脳会談については、著者はトランプ米大統領が手打ちするのではないかと心配していたが、それは杞憂に終わった。しかし1回目のシンガポールでの米朝会談の一年前はどのような情勢だったかを見れば、朝鮮半島情勢は、いっとうなるかわからない。このような中で我々は拉致被害者を救出しなければならぬのである。

(山田)



朝鮮総連に関する政府公式見解

アジア調査機構 代表 加藤 健

すでに報道されているように政府は5月17日、

- ◆ 朝鮮総連構成員は拉致に関与している
- ◆ 朝鮮総連はテロ活動を行う恐れがある
- ◆ 朝鮮総連は破壊防止法に基づく調査対象団体

などとする答弁書を閣議決定しました。松原仁議員が提出した質問主意書に答えたものです。松原議員のご尽力にこの場を借りて御礼申し上げます。

この答弁書は朝鮮総連に関するもっとも重要な政府公式見解集です。そこで見やすいように質問と答弁をまとめてみました。ぜひ様々なところで引用ください。

東京都千代田区に中央本部をおく在日本朝鮮人総聯合会（朝鮮総連）に関する次の質問について、政府が承知しているところを具体的事例で示されたい。

一 北朝鮮による日本人または在日朝鮮人の拉致に、朝鮮総連関係者は関与しているか。

一について

政府としては、現時点においては、昭和四十九年六月に発生した姉弟拉致容疑事案、昭和五十三年六月に発生した元飲食店店員拉致容疑事案及び昭和五十五年六月に発生した辛光洙事件において、それぞれ朝鮮総連傘下団体等の構成員の関与があったものと認識している。

二 我が国が計一兆三千四百億円以上の公的資金を投入する事態となった朝銀信用組合の経営破綻に、朝鮮総連は関与しているか。

三 安倍晋三内閣総理大臣は平成二十七年二月二十日に開かれた衆議院予算委員会で、「朝銀信組の破綻の問題は、他の信組の問題とは違って、いわば破綻することがわかっているにもかかわらず、後で預金保険機構あるいは公的資金が入ることを前提にどんどん貸していく、そして大きな穴をあけた結果なんですね。投資の失敗だけではなくて、いわば不正融資というか、北朝鮮に金が渡るということを前提に貸し手側と借り手側が一体となっていたという問題がありました」と答弁されたが、相違ないか。

二及び三について

御指摘の「朝銀信用組合の経営破綻」の原因については、金融機能の再生のための緊急措置に関する法律（平成十年法律第百三十二号）第十三条の規定に基づく金融整理管財人の報告等によれば、融資審査が不十分であったこと、法令遵守体制に問題があったこと、内部での相互牽制機能が形骸化し、不適切な経営管理が行われていたこと等が指摘されているところであり、また、預金保険機構及び株式会社整理回収機構が債権回収の一環として融資資金の過去の動きの把握に努めた結果、朝鮮総連に対して架空の名義等を用いて融資が行われていたことが明らかとなっているところである。

四 朝銀信用組合の経営破綻に関係して検挙された朝鮮総連関係者はいるか。

四について

お尋ねの「朝銀信用組合の経営破綻に関係して検挙された」の具体的に意味するところが必ずしも明らかではないが、平成十三年十一月、警視庁において、朝銀東京信用組合のため業務上預かり保管中の金員を着服したなどとして、朝鮮総連の構成員らを業務上横領罪等で検挙したことがあるものと承知している。

五 北朝鮮を仕出地とする覚せい剤密輸事件に関与した朝鮮総連関係者はいるか。

五について

警察庁において調査した限りでは、北朝鮮を仕出地とする覚醒剤密輸事件への朝鮮総連等の構成員の

関与は、現在のところ確認されていない。

※ 平成9年に北朝鮮貨物船から覚せい剤約59キロが発見された事件で、朝銀大阪の元副理事長が逮捕され有罪判決を受けています。また平成12年に北朝鮮ルートで覚せい剤約250キロを密輸したとして下関朝鮮初中級学校の元校長・曹奎聖（チョ・ギュソン）容疑者が指名手配されています。曹容疑者が経営していた会社は、朝鮮総連が朝銀山口から6億3600万円を引き出したとき名義人になっています。警察庁が「構成員」と認定する要件は極めて厳格のようです。

六 不正輸出事件に関与した朝鮮総連傘下企業や朝鮮総連関係者はいるか。

六について

お尋ねの「不正輸出事件」の具体的に意味するところが必ずしも明らかではないが、平成元年二月、新潟県警察において、当時の外国為替及び外国貿易管理法（昭和二十四年法律第二百二十八号）により輸出が規制されていた貨物を通商産業大臣（当時）の許可を受けずに不正に輸出しようとしたなどとして、朝鮮総連傘下団体の構成員を同法違反等で検挙したことがあるものと承知している。

七 朝鮮総連傘下団体のなかに、科学技術によって北朝鮮を支援することを目的とする団体はあるか。あるとすれば検挙の事例はあるか。

七について

お尋ねの「科学技術によって北朝鮮を支援することを目的とする団体」としては、在日朝鮮人の科学者、技術者等で構成されており、朝鮮総連傘下団体の一つである在日本朝鮮人科学技術協会があり、同団体については、平成十七年十月、警視庁において、薬局の開設等の許可を受けずに医薬品を販売したなどとして、同団体の構成員を当時の薬事法（昭和三十五年法律第百四十五号）違反で検挙したことがあるものと承知している。

八 朝鮮総連傘下団体の税理士法違反事件に関与して検挙された朝鮮総連関係者はいるか。

八について

お尋ねの「朝鮮総連傘下団体の税理士法違反事件」の具体的に意味するところが必ずしも明らかではないが、平成二十年十一月及び十二月、警視庁において、税理士ではなく、また、税理士法（昭和二十六年法律第二百三十七号）に別段の定めがある場合ではないにもかかわらず、税理士業務を行ったとして、朝鮮総連傘下団体の構成員らを同法違反で検挙したことがあるものと承知している。

九 外務省へのスパイ活動で検挙された朝鮮総連関係者はいるか。

九について

お尋ねの「外務省へのスパイ活動」の具体的に意味するところが必ずしも明らかではないが、昭和四十二年十一月、警視庁において、外務省の事務官から秘密文書等を収集するなどした行為に関し、朝鮮総連傘下団体の構成員らを国家公務員法（昭和二十二年法律第二十号）違反等で検挙したことがあるものと承知している。

十 北朝鮮人権問題に関する集会を、威力を用いて妨害したことで検挙された朝鮮総連関係者はいるか。

十について

お尋ねの「北朝鮮人権問題に関する集会」の具体的に意味するところが必ずしも明らかではないが、平成六年八月、大阪府警察において、「救え！北朝鮮の民衆／緊急行動ネットワーク」というグループが開催した集会を威力を用いて妨害したとして、朝鮮総連の構成員らを威力業務妨害罪で検挙したことがあるものと承知している。

十一 朝鮮総連は「日本と国交を有する諸外国における大使館にも比すべき活動」を行っているとするが、北朝鮮のために日本の各界に働きかける工作活動を行っているか。

十一について

政府としては、朝鮮総連が各界関係者に対し、その活動に対する理解を求め、北朝鮮に対する友好的な世論を醸成するため、北朝鮮の各種記念日に際して開催する祝賀会への参加を呼び掛けるなどの各種諸工作を行っているものと認識している。

十二 朝鮮総連または前身組織は暴力主義的破壊活動を行ったことはあるか。

十四 朝鮮総連は将来、暴力主義的破壊活動を行うおそれはあるか。

十二及び十四について

政府としては、朝鮮総連について、その前身組織である在日朝鮮統一民主戦線がこれまでに暴力主義的破壊活動を行った疑いがあるものと認識しており、また、北朝鮮とも密接な関係を有していることから、今後の情勢いかんによっては、将来、暴力主義的破壊活動を行うおそれのあることを否定し得ないものと認識している。

十三 朝鮮総連は破壊活動防止法に基づく調査対象団体か。

十三について

朝鮮総連は、破壊活動防止法（昭和二十七年法律第二百四十号）に基づく調査対象団体である。

この答弁でもっとも重要なのは、朝鮮総連構成員が3件の拉致に関与していると政府が認定した部分だと思っています。むろん政府認定に至る事件は拉致全体のほんの一握りです。それでも3件も認定しています。

つまり朝鮮総連は日本国政府認定の人さらい組織なのです。人さらい組織が千代田区の一等地に本部を構え、小平市の100億円の土地で幹部養成校を運営し、工作活動のために議員会館に出入りしています。これは極めて異常な事態だと思うのですが、いかがでしょうか？

朝鮮総連は前身組織も含めたら70年近く活動しています。大多数の日本国民にとって生まれる前から存在していた組織であり、そのため多くの人が異常な状態を普通のことのように誤解しています。

諸外国に当てはめれば異常さは明白です。仮にアメリカに「在米総連」という組織があつてアメリカ人数百人を拉致していたらどうでしょう？ アメリカ政府が許すはずありません。今でさえ北朝鮮政府や朝鮮労働党などを資産凍結対象に指定しているくらいですから、拉致までやっていたとなったら在米総連の幹部全員を拘束するかも知れません。

イギリスやフランス、ドイツだって同じです。「在英総連」「在仏総連」「在独総連」がそれぞれ何百人も拉致していたら、活動継続が許されることなど考えられません。フランスだったら憤激したデモ隊に総連幹部が殴り殺されるかも知れません。

日本はありえないくらい異常なことを許しているのです。そして許しているから、北朝鮮に甘く見られて拉致被害者が帰国できないのです。何の罪もない拉致被害者が、いまでも続く壮大な不作為の犠牲になっています。

■ 北朝鮮が脅迫してきた

北朝鮮は政府答弁に反応しました。朝鮮中央通信は5月24日付で「なんとしてでも朝鮮総連を弾圧、抹殺しようとする邪悪な下心をさらけ出したものだ」「悪意に満ちた妄動」「無謀な敵意と偏見は日本を自滅と孤立に追い込むだけだ」などと糾弾しました。

さらに朝鮮労働党の機関紙『労働新聞』は5月26日付で「朝鮮総連を弾圧し、抹殺しようとする悪辣な心のあらわれだ」「朝鮮総連に対する卑劣な弾圧はわが国に対する敵対行為であり政治的な挑発だ」と糾弾したうえで、「日本反動の弾圧策動を絶対に容赦せず、断固対処する。必ずや高い代償を支払うことになる」と脅迫してきました。

「朝鮮総連は暴力主義的破壊活動を行うおそれがある」とした政府答弁が正しいことを立証してくれました。「高い代償」なら覚悟の上です。引き続き全力で運動に取り組んでいきましょう

加藤健の

「天を回せ！ロビー活動で挑む」
一般国民が国際政治を動かすための
具体的方法論

<http://kenkato.blog.jp/>



上野街頭署名活動

上野街宣活動御報告

救う会埼玉幹事

五位野 一法

「救う会埼玉」では、去る3月30日(土) 東京・上野にて、「拉致事件」による拉致被害者と特定失踪者の方々の全員奪還を目指すための街宣広報および政府提出の署名活動を、午前10時〜午後1時30分の3時間半の間、展開させて頂きました。

今回も桜の咲き誇る季節での開催となりましたが、前日の天気予報では、東京地方は雨天予報が出ていましたので、とても危惧しておりましたけれど、おそらく天に祈りが通じたのでしよう、前年に比べると幾分肌寒く曇天ではありましたが雨は降らず、多くの行き交う方々に、「拉致事件」の啓蒙としてのハンドビラ配りと署名への呼びかけを参加者一同、精一杯行

わせて頂きました。

ご参加された拉致被害者と特定失踪者の御家族の方々に加え、「救う会秋田」の松村譲裕代表、劇団「夜想会」主宰の野伏翔監督と数多くの劇団員の方々、そして気象予報士でもある半井小絵さん、また「拉致被害者全員奪還ツイキャス」運営・発起人の月本權琉氏、さらには神奈川県、千葉県、群馬県、秋田県、新潟県、各地よりお集まり頂いたボランティアの皆様が大集結して頂くことになりました。

今回、マイクを握って頂いた数名の弁士の皆様は、世界的な人権問題である北朝鮮による非道な拉致の実態や、残されたご家族の悲しみ等を多くの市民の方々に切々と訴えておられました。

結果、総勢66名の参加者により、お陰様で423筆に及ぶ貴重な署名を頂戴することができました。(そしてこの記事を書いている段

階で、平成9年4月12日以来の全国から政府へと届けられた総署名数が1341万筆を遥かに越えていることが判明しました)

改めて署名をして頂いた数多き市民の皆様や御尽力頂いた関係者各位に御礼申し上げます。

しかし、この「拉致事件」は、今更ながら解決の兆しが、なかなか見えないことは本当に悲しく、そして苛立たしい現実でもあります。

御家族らにとっても、時間が無限にあるわけではありません。日本政府も解決に向けて真摯に取り組んでいると信じてはおりますが、さらに力強く解決に向けて努力して頂きたいと願っております。

その意味でも、再度来日のトランプ大統領が拉致被害者の御家族たちと会談を行ったという話は、勇気づけられる唯一の朗報と言えるのかも知れません。そしてこの好機は絶対に逃してはならないでしょう。

いかにせよ「拉致事件」が、解決するまでは、この国民運動は風化させてはな

らないし、決して絶やしてはいけないものです。

そして令和元年こそ、「拉致事件」解決の年となるように祈りつつも、決して一喜一憂せず、「全員奪還」「再会」の「希望」の日を夢見て、共に頑張ってくださいましょう。



上野公園前での街頭活動に参加して

3月30日(土)に毎年行っている上野公園における拉致被害者救出を求める街頭活動が行われ、署名をお願いする声をあげました。

世界的にも有名な上野公園の桜なので当然ながら外国人観光客がかなり多くいました。私個人としては、英語のパンフレット(今回はほかに中国語、韓国語版も配布しました。)がどれだけ外国人に受け入れてもらえるか期待半分不安半分でしたが、ひたすら目に付くよう高く掲げ頑張っていました。まったく無視する人、ちらっと見ていく人、

不思議そうに受け取る人など様々でしたが、なかには私の持つパンフレットに手を伸ばして受け取ってくれた中国人男性もいて思わず嬉しくなりました。

あの外国語版の拉致問題啓発パンフレットを受け取って下さった方たちが、北朝鮮による「人権テロ」に関心を持ってくれるよう、そして少しでも行動してくれるようにと祈らずにはいられませんでした。

また、自転車を止めて署名して下さった男性もいて人の温かさを感じたひとときでした。

そして今回、拉致問題啓発演劇を全国で上演していただきます「劇団 夜想会」の皆さんや埼玉以外からのボランティアの皆様のおかげで、いつもの救う会埼玉の活動よりも更にパワーアップした活動だったと思います。

すべての拉致被害者を救い出し、二度と拉致を許さない為にも、この問題を風化させてはならず、私たちの使命はとて大きいと思いました。頑張ります！

(小島)

新幹事紹介

新任幹事所信

五位野 一法

私は昨年の春に上野での街頭署名活動への参加をきっかけに、微力ながらも現在「救う会 埼玉」で「拉致事件」解決のためのお手伝いをさせて頂いております。

その意味では、以前より「拉致事件」に取り組まれて来られた多くの先輩諸氏からすれば、新参者ということになります。今回新任幹事職の拝命「3・10救う会埼玉総会」に当たり、これまで以上に身の引き締まる思いですが、先輩諸氏の足跡を汚さぬように「拉致事件」解決の一助となれるように頑張つて行く所存です。

北朝鮮によるこの問題を突き詰めて行くと、色々な意味で現代日本社会の問題点が浮き彫りになるような思いを強く致します。

最近強く思うことは、街頭での無関心層を如何にして振り向かせるかということです。

まだまだ勉強不足で至らぬ点もありますが、皆様のお力を借りながら、一日一刻でも早い拉致解決（拉致被害者・特定失踪者の奪還救出）を目指して行きたいと考えております。何卒宜しくお願い申し上げます。



新任幹事所信

小野田 陽徳（緑丸）

今年度より救う会埼玉の幹事に就任致しました、小野田緑丸と申します。

「緑丸」は漫画を描くときのペンネームなのですが、こちらの方が活動現場で長く使っており「通り」が良いのでそのまま使わせて頂いています。

私は、北朝鮮による拉致問題が、無為に時間が経過している様を見続け何とかこの問題を動かしたいと強く思うようになりました。

そんな最中、地元で活動量も抜き出ていた救う会埼玉の方々と知り合う機会を得て、竹本代表の人柄にも惹かれたので参加させて頂いたことになりました。

りました。

「被害者を救い出すために役立つなら何でもやってくれ」そんな竹本代表の姿勢は、救う会埼玉の活動量の多さにそのまま現れています。

私自身まだまだ至らぬ身ですが、全ての拉致被害者の奪還に向けて一緒に戦わせて頂ければと思います。どうか宜しくお願い申し上げます。

8月15日都内での街頭活動にご協力を！

ここ数年にわたり、毎年2回東京都内で人出の多い時と場所で開催される街頭署名活動を行っております。一つは、桜が満開の土曜日から日曜日に上野公園前で、もう一つは、8月15日終戦の日に関段下駅から靖国神社に向かう歩道にて。

いずれも人出が多く、しかも全国各地から来られる方々で、署名いただくのも全国各地に住まわれている方々です。毎回、「どこかで拉致被害者救出の署名をしたかったのよ。ここで署名できて本当によかった。」とおっしゃられる方がいます。

す。

特に靖国神社参拝に向かう人たちの流れと参拝を終えて帰られる人たちの流れで歩道は上野公園以上の人数出かもしれません。しかもチラシの受け取りも上野公園前よりはるかに良く、手をさし伸ばしてチラシを求め方も目立ちます。

靖国神社に参拝される方々は、拉致問題を含む政治的関心が高く、よく激励の言葉をいただきます。署名も1年で最も多く集まるのがこの8月15日です。夕方16時を過ぎても人出は多く反応も大変良いので、体力にまだ余裕のある有志で17時過ぎまで行うこともあります。私達も激励の言葉から何かパワーをいただいているように感じます。

この日は、午前中の活動をされている別のグループから12時すぎ頃からその場所を引き継ぎ、その場所を使わせていただいています。本年も雨天でない限り正午すぎから16時までのぼりを立てて街頭署名活動を行います。チラシは、3000セット用意していきます。ぜひ、1時間でも30分でも結構ですので、お時間のご都合をつけて一緒に参加いただけないでしょうか。きつといつももの街頭活動とは違った「やりがい」「充実感」を感じて頂けると思います。ご参加いただける方は、竹本までご一報いただければ幸いです。皆様のご参加をお待ちいたしております。

も結構ですので、お時間のご都合をつけて一緒に参加いただけないでしょうか。きつといつももの街頭活動とは違った「やりがい」「充実感」を感じて頂けると思います。ご参加いただける方は、竹本までご一報いただければ幸いです。皆様のご参加をお待ちいたしております。

日時…8月15日（木）

12…05～16…00

場所…地下鉄「九段下」駅1番出口から靖国神社に向かう歩道にて

活動内容…署名、3000セットのチラシ・小冊子の配布、マイクでの訴え※毎年暑いので暑さ対策で帽子などお持ちください。随時水分補給はさせていただきます。

（竹本）

連絡先

TEL
090-8815-4986
(SMS可)

E-mail
orion.fox@orange.zero.jp
救う会埼玉代表 竹本博光

国民大集会報告

5月19日(日)、「全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会」が東京のシェーンバッハ・サボアで行われた。参加者は約1000人。

当日は平成9年4月12日から令和元年5月19日まで22年かけて被害者家族や支援者が集めた1341万4325筆の署名が初公開された。山と積まれた段ボール箱約400箱の署名を前に安倍晋三内閣総理大臣、菅義偉官房長官兼拉致問題担当大臣、古屋圭司拉致協議連会長、その他に多くの与

野党議員も登壇した。

安倍総理大臣は「5人とその家族以外1人もとり戻せていないのは痛恨の極みです。わが国が主體的に取り組まなければならぬ」と、菅義偉官房長官は「政府として申し訳なく思う。一日も早く解決するよう心がけたい」と政府も急がなければならぬとの認識を示した。

被害者家族からは「求めるものはただ一つ、全拉致被害者即時一括帰国」との発言が何度も出た。横田拓也家族会事務局長からは「全拉致被害者即時一括帰国が実現するのであれば、私たちは帰ってきた拉致被害者から秘密を聞き出して国交正常化に反対する意志はありません」との金正恩宛の家族会・救う会のメッセージには議論があった事も紹介された。

家族や支援者も亡くなる方が相次いでいるとの発言もあった。増元照明さんは、先日亡くなった支援者に思いを馳せ、涙ながら訴えた。竹下珠路特定失踪者



家族会事務局長は「弔電を打ちながらくやしい思いをします」、最後に松原仁拉致協議連幹事長が決議案を朗読し、下記の決議を採択して閉会となった。

国民大集会決議

一、政府は、国民が切望する全拉致被害者の即時一括帰国を早急に実現せよ。

二、北朝鮮は、全拉致被害者の即時一括帰国をすぐに決断せよ。

(山田)

編集後記

今年の6月4日は、天安門事件から30周年です。あの事件では民主化を願う多くの学生・市民たちに対して戦車などを出し武力で弾圧し多くの死者を出しました。

しかし今の香港の様子はまさに天安門事件を思い起こさせるような状況です。北朝鮮も中国も一党独裁体制でネットの情報も国家が統制し政権に都合な情報は露骨にシャットダウンさせられてしまっています。

一国二制度との美辞麗句でしたが香港は中国の意向で動いている香港行政機関によって力づくで市民の自由も権利も抑え込まれそうな状況です。

中国はほかにも100万人を超えるウイグル民族を収容所に入れ洗脳教育を行っていることは国際的にも非難の声が上がっています。

さらにウイグル民族、チベット民族や南モンゴルの人々の伝統文化を破壊し、

反対運動を暴力的に鎮圧している状況があります。

台湾の総統選挙にも中国の工作が行われているとも言われます。台湾の危機の次は、尖閣諸島を含む沖縄の危機となります。まさに中国の軍事力を背景とした覇権主義はアジアの大きな脅威となっています。

私たちは、北朝鮮から被害者を救出することと同時に、著しい人権弾圧を行う一党独裁の中国や北朝鮮の動向に警戒の目をもち、人権を守るために、虐げられている多くの人々と連帯し、声をあげていくことが大事なのではないかと思うのです。

まずは知ったことをまだ知らない知人友人に伝えていくことも「行動」です。無理なくできるところから「行動」してまいりましょう！

必ずやその一つ一つの行動が大きくなうねりとなり良い結果を出すと信じています。

(竹本)

ご寄付いただきました皆様へ
心より感謝申し上げます

私たちの活動は、会員の皆様の会費や署名活動時の寄付金などで運営されています。ここまで活動の幅を広げられたのも皆様方のおかげであるところから感謝申し上げます。

そこで、通信36号掲載以降に会費（一千円）以外に一千円以上寄付金納入のあった皆様について、非公開希望の方を除き、感謝の気持ちを込めて掲載させていただきます。

石井重雄
新井一雄
染谷高美
小島健二
新甫俊治
長本博明
出井善元
橋本喜久子
網野悦子
鈴木弘
富沢昭一郎
高橋好
山田文明
野口スミ
田口敏夫
秋谷庫治

吉田 實

山田由美子

田口ゆり子

今井富美子

秋吉恵美子

豊島栄子

土屋恵一

藤田 豊

古川千代子

安齋作子

古口重子

鈴木順子

保坂領三

瀬村和子

原克己

竹本佳徳

竹本多恵子

福田カツエ

臼倉蒼治

新井豊子

長島徳仁

長島るり子

（順不同）（敬称略）

（令和元年4月12日迄）

心より御礼申し上げます。

（竹本）



救う会埼玉通信

メール配信移行のお願い

当会では会員の皆様に本紙「救う会埼玉通信」を郵送でお届けしておりますが、この度の郵便料金の値上げに伴い、通信費用の負担増が避けられない事態となっております。

そのため、今後は救う会埼玉通信を電子メールでも配信致します。

会員の方々への通信送付を郵送からメール配信へ移行することが出来れば、通信費用の削減に繋がります。

通信をメール配信で受け取って下さる方は下記メールアドレスまで、お名前と配信を希望されるメールアドレスをお伝えください。
（通信メール配信希望と件名に記載の上お送り頂けると助かります。）

お送り頂いたメールアドレス宛に救う会埼玉通信を配信させていただきます。

（メール配信を希望された方は、郵送による通信送付は

停止させていただきますのでご了承ください。）

《通信をメールにて受け取ることのメリット》

・写真などは、カラーで見られます。

・知人・友人に添付ファイルを使ってメールで通信を送れます。

当会では皆さまからの会費と寄付によって運営されており、経費を節約することを旨としております。

何卒、通信費用軽減のため、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、お手続きがない場合は、従来通り会員の皆様に郵送させていただきます。

（竹本）

連絡先

E - m a i l

orion.fox@orange.zero.jp

救う会埼玉代表 竹本博光

※通信メール配信希望と
掲題して下さい。

これ以上待てない！
今年中の全被害者救出を！

全ての拉致被害者を一刻も早く帰国させよ！

活動報告・活動予定

【活動報告】

- ・ 1月13日(日)
浦和定例署名活動
参加者18名
署名115筆
- ・ 1月20日(日)
志木定例署名活動
参加者5名
署名22筆
- ・ 1月27日(日)
熊谷定例署名活動
参加者10名
署名13筆
- ・ 2月7日(木)
蔵「めぐみへの誓い」上演会場署名活動
参加者20名
署名338筆
- ・ 2月10日(日)
浦和定例署名活動
参加者19名
署名157筆
- ・ 3月10日(日)
救う会埼玉総会
浦和コミュニティセン
- ・ 3月17日(日)
志木定例署名活動
参加者9名
署名91筆
- ・ 3月24日(日)
熊谷定例署名活動
参加者11名
署名24筆
- ・ 3月30日(土)
上野駅前署名活動
参加者66名
署名423筆
- ・ 4月14日(日)
浦和定例署名活動
参加者17名
署名163筆
- ・ 5月11日(土)
所沢駅前臨時署名活動
参加者23名
署名68筆
- ・ 5月12日(日)
浦和定例署名活動
参加者23名
署名110筆
- ・ 5月19日(日)

志木定例署名活動
国民大集会のため中止

・ 5月24日(金)

国会要請デモ(特定失踪者問題調査会・特定失踪者家族会主催)
参加者10名

・ 5月26日(日)

熊谷定例署名活動
参加者8名
署名35筆

・ 6月2日(日)

大宮駅西口臨時街頭活動
参加者12名
パンフレット・チラシ配布実施

・ 6月9日(日)

浦和定例署名活動
参加者21名
署名103筆

協力スタッフ募集中

連絡先

TEL

090-8815-4986

E-mail

orion.fox@orange.zero.jp

救う会埼玉代表 竹本博光

【活動予定】

- ・ 7月14日(日)
浦和定例署名活動
JR浦和駅西口伊勢丹前
14時～16時
- ・ 7月21日(日)
志木定例署名活動
東武東上線志木駅南口
13時30分～15時20分
- ・ 7月28日(日)
熊谷定例署名活動
JR熊谷駅北口
14時～16時
- ・ 8月11日(日)
浦和定例署名活動
JR浦和駅西口伊勢丹前
14時～16時
- ・ 8月15日(木)
靖国神社側九段下署名活動
12時～16時
- ・ 9月8日(日)
浦和定例署名活動
JR浦和駅西口伊勢丹前
14時～16時
- ・ 9月14日(土)
拉致問題を考える埼玉県民の集い
浦和コミュニティセン
ター多目的ホール
13時30分～16時
- ・ 9月15日(日)
志木定例署名活動
東武東上線志木駅南口
13時30分～15時20分
- ・ 9月22日(日)
熊谷定例署名活動
JR熊谷駅北口
14時～16時
- ・ 10月13日(日)
浦和定例署名活動
JR浦和駅西口伊勢丹前
14時～16時

会費・カンパはこちらへお願いします

ゆうちょ銀行
口座記号番号

00150-1
727165
救う会埼玉